

平成29年度

第1回景観学習教室

◎今年度も景観学習教室を開催しました。その様子をご紹介します。

日時：平成29年6月5日（月） 9:00～12:00
 場所：黒石市立黒石東小学校
 参加学年：4年生（1クラス・40人）
 プログラム ◆講義（「景観」って、なあに？）
 講師：北原 啓司（弘前大学大学院地域社会研究科長）
 ◆まち歩き
 ① 1グループ7人（一部6人）で6グループ編成で実施
 （7人→4グループ、6人→2グループ）
 ② デジタルカメラを生徒全員に配布し、撮影してもらう

1. 講義のようす。

授業のタイトルは、「『景観』って、なあに？」

第1回はまち歩きです。その前にまず、弘前大学北原先生から「景観」とは何かを教えてくださいました。



「観る」ってどういう意味だと思います？



自分で気づいたものを写真に撮ってみよう！

＼よろしくお願いします！／



北原先生の授業を熱心に聞く4年生の子どもたち。



まち歩きで一緒に歩く、弘前大学教育学部
住居学研究室のみなさん。

2. まち歩きの様子。

いよいよまちに繰り出します。今年度は、6グループに分かれてまちを探索しました。
くろいし景観資産に指定されている高橋家（国重要文化財）や鳴海家では、ご厚意により、内部の見学も
させていただきました。
さて、どんな景観が待っているのでしょうか。



好きな景観、嫌いな景観、気になる景観をどんどん
写真に撮っていました。



友達が撮っていなくても、自分で気になったら
迷わずパシャリ！
景観の感じ方は、人それぞれです。



こみせ通りに向かう道の途中でも、景観はたくさん
あります。



何か気になるものがあるようです。



覗いた先に写るものに、何を思うのでしょうか。



中町のこみせ通りに入りました！
歩いている途中でも色々とお話を聞きました。





こちらは鳴海家の中の様子です。
見たことのないものがたくさん！
さっそくカメラを構えています。



こみせの中から見える景観を写真で切り取った
ようです。



こちらは高橋家の中の様子です。
子どもたちが立っている通り土間は、江戸時代の土。
高橋家の方からそんなお話を聞いて、子どもたちは
びっくり！そんな昔のものが大切に保存されています。



こみせんの前で一枚。
子どもたちの中で、ここから水を汲んだことが
ある人はいるのでしょうか？



かぐじ広場の一角にて。
第1回のまち歩きが終わったあと、かぐじ広場で遊ぶ
子どもが増えたとか。
うれしいことですね！



約1時間半のまち歩きは無事終了しました。
第1回の景観学習教室、お疲れさまでした！

北原先生の授業を聞いたうえで、普段見慣れている景色を「景観」という見方で見てみると、
何気ない景色の中に何か見えてくるものがあったのではないのでしょうか。
今回のまち歩きが普段歩かない場所だった子どもたちには、景観学習教室を終えたあとで、
自分の通学路など身近な場所での「景観」も見て、考えてみてほしいです。